

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

先週の土曜日に「停课」が久しぶりにだされました。日曜の朝、スクール並の雨で50m先が見えない状態でした。高雄旧市街は、そのスクールの雨についてニュースで流れていましたが、後は大きな被害もなく、また、学校も特に壊れたところはありませんでした。

7月15日（月）

3時間目から6時間目までプールの監視員をやりました。土曜日の台風の影響で葉っぱがプールに入っていました。6時間目は中学生ですので、最後の仕上げに潜ってもらい葉っぱを拾ってもらいました。みんな、すごく上手になってびっくりしました。5月の初めには、顔を水につけることができなかつた子どもがビート板使っていたり、潜っていたり。本人はおそらく気づかないのですが、すごい成長です。保護者の皆様も一度泳ぎに行ってください。すごい進歩です。

7月16日（火）

中国語担当の先生から、「熱帯低気圧ができました。台湾にまっすぐきます」情報を得たので、インターネットで調べました。このまま行けば、予報円は高雄が真ん中で19日には、また、きてしまいます。ということで、しばし、また台風に注視をしていきます。

7月18日（木）

今週になりお別れ会が行われています。日本人学校は、どこでも、編入してきて、退学するという宿命みたいなものです。そうだとすると、初めて会うときは、なんとなくうきうき、お別れするときは、明らかに悲しい。日本およびオーストラリア、高雄のアメリカンスクールに合わせて6人。体験入学5人が学校をさります。8月末には、すでに7人入学したいという方の問い合わせがきています。

7月19日（金）

毎年夏休みの前に話をすることにしています。私が勤務した学校の生徒が川で流され、1週間行方がわからず、という話です。ちょっとした不注意がいろんなことに影響がでます。命を粗末にはしないで欲しい。

プール開放

21日10:00~14:00

8月25日（日）9月1日（日）7日（土）8日（日）10:00~14:00

(交流協会からメールでも送信されてるとはと思いますが、念のために載せます。)

台湾における狂犬病の発生について

1. 狂犬病に感染して亡くなる人は全世界で毎年5万人を超えていますが、これまで台湾については日本と同様、狂犬病の撲滅地域とされてきました。先般、南投県内の日月潭近くや雲林県内において3匹の野生のイタチアナグマに狂犬病が疑われる事例が見つかり、専門家による検討の結果、7月16日、台湾の農業委員会は野生のイタチアナグマが狂犬病に感染していた旨公表しました。

2. かかる事態を踏まえて台湾の衛生署は概要以下の注意喚起を行いましたので、邦人の皆様におかれても御注意願います。

(1) 野生動物に触ったり、拾ったりしないこと。

(2) 野良犬や野良猫に噛まれたり、分泌物に触れた場合、直ちに病院に行き狂犬病のワクチン接種を受けること。

(3) 3カ所の狂犬病発生地(南投県魚池郷・南投県鹿谷郷・雲林県古坑郷)や山間部に所在する自宅の犬や猫に狂犬病の疑似症状が現れた場合、飼い主は直ちに当局に通報するとともに、ワクチン接種をすること。

(4) 自宅において飼っている犬や猫に噛まれても、狂犬病にかかるリスクは低いが、飼い主は定期的に狂犬病の予防接種を行うこと。

(5) 動物に噛まれた場合、石鹸を使用したり、又はアルコール消毒をして、大量の水で傷口を洗い(15分間)、出来るだけ早く病院に行くこと。

日本脳炎及びデング熱についての注意喚起

1. 台湾の衛生署疾病管制局は、台湾中南部に限らず、広く台湾内において日本脳炎及びデング熱の感染例が発生しているとして注意喚起をしているところ、邦人の皆様におかれても、特に夕暮れ及び夜明けには、蚊の発生しやすい場所には極力近寄らないようにしていただき、東南アジア各国など感染リスクの高い地域も含めて蚊を避けられない場所で活動せざるを得ない場合は明るめの色の長袖上下を着用し、露出した部分には防蚊剤を塗る、など蚊に刺されない対策をとるよう勧めています。

2. 疾病管制局によれば、日本脳炎については、7月9日までの本年累計で9件確認され、毎年5月～10月までが流行期としています。初期は風邪に似ているとして、高熱、頭痛、吐き気、嘔吐等が主症状で、続いて筋肉痛、頸部硬直の症状が出て死に至る可能性もあるとしており、病院等において日本脳炎のワクチン接種を勧めています。

